

2017.4 雪倉岳BCスキー記録

鳥切昇治記



蓮華温泉の駐車場から雪倉岳(2,611m)の雄大な眺め

1. 山域・山名 北ア後立山 雪倉岳(2,611m)
2. 期 日 2017年4月14日(金)～4月16日(日)
3. メンバー 鳥切昇治 他ツアー参加者6名 ガイド:湯浅幹夫・鈴木重孝両氏
4. 行動記録

4月13日(木)天候:晴 自宅～白馬乗鞍

蓮華温泉から雪倉岳に登るバックカントリースキーツアーに参加するため、白馬乗鞍へ午後から車で向う。海老名 IC までの一般道は車が少なくして順調に圏央道、八王子JCTから中央道に入る。

甲府盆地に入るとピンク色の桃の花が目に入ってくる。南アルプス、八ヶ岳を眺めながら走る。原PAで休憩。安曇野 IC で一般道に下り、大町方面に向かう。桜は、横浜では散ったと言うのにこの辺りはまだ咲いていない。

明るい内に白馬乗鞍スキー場の脇にあるフォークテイルに着いた。スキー場はクローズしたそうです

が残雪は多い。宿泊客は私一人で静かだ。明日は、ツアー客7人、ガイド2人の9人だそうだ。天気は良さそうだと言う。楽しみだ。

自宅 12:36—13:27 海老名 IC—13:47 八王子JCT—15:10 原PA15:18—15:50 安曇野 IC—17:06 白馬乗鞍（ペンション フォークテイル泊）（走行キロ数 288km）

4月14日(金)天候:晴 梅池～蓮華温泉

天気が良く清々しい朝を迎えた。梅池 Gondola 乗場で全員が揃う。女性が一人いる。金曜日で Gondola・ロープウエーは空いていた。ロープウエー終点の自然園駅を出てシールを着け出発する。上部を左側に捲いて天狗原に出る。天狗



乗鞍岳の急斜面を滑る

大斜面を滑り終えて左にトラバースし、台地状の所で昼食とする。ここから左の乗鞍沢に入る。雪質が変化するのでダケカンバをぬって慎重に滑り、乗鞍沢に入る。沢筋は雪が安定していてゴキゲンで滑る。デブリは1箇所だけきれい



蓮華温泉に到着



梅池自然園駅でシールを着ける

原から乗鞍岳大斜面の右手を登り、乗鞍岳の肩に出る。シールを外し、乗鞍沢に向って急斜面を滑る。雪質が場所によって変化するので慎重に滑った。



蓮華温泉駐車場から朝日岳(右)

な雪だった。硫黄泉の臭いがしてきて、林道の橋が見え、右岸側から林道に出た。雪で埋った駐車場の所から、雪倉岳、朝日岳(2418m)が目の前に広がる。左に回り込み蓮華温泉に到着した。

時間が早かったのでザックを置き露天風呂へ

行くことにする。スキーにシールを着け、10分程林の中を登る。開けた所に露天風呂があり「仙気ノ湯」と標柱が立っていて、朝日岳の眺めが良い。早速露天風呂に入る。湯加減が丁度良く、景色を眺めながら浸かっていると時間が経つのを忘れる。

今日の泊りは、我々の他は5名だけで、夕食時は淋しい位だ。以前泊まった時は大勢の人で食堂が満席で賑やかだったのに。お陰でのんびりと食事がとれた。



蓮華温泉の露天風呂



蓮華温泉の夕食



蓮華温泉の内湯

部屋には豆炭炬燵があり暖かい。お酒を飲みながら歓談していた。夕食前に温泉に入る。貸し切り状態で、洗い湯は使え無いが、ゆったりと浸かれた。

コースタイム

フォークテイル 8:32—8:40 梅池 Gondola 乗場 8:55—梅の森 9:30—9:35 ロープウエー山頂駅 9:55—天狗原 11:10—11:50 乗鞍岳肩 12:10—12:20 昼食地 12:50—13:20 蓮華温泉(泊)

4月15日(土)天候:曇・雨・強風 蓮華温泉～雪倉岳～蓮華温泉

昨夜から強風が吹いていた。窓にカーテンが無いので自然に目が覚める。朝日岳が朝日に輝いている。5時45分朝食、6時15分シールを着けずに出発。林間をトラバース気味に滑る。瀬戸川の渡渉点より下がってしまったようで、シールを着け少し登ってから瀬戸川に出た。渡渉点は完全に埋まっていて水音も聞こえない。

青空が見えるのに時折、雨とアラレが強風と共に降って来る。天気予報では良かったのに地域性の荒天の様だ。

小休止後、雪倉岳へ向って登る。雪倉ノ滝がある沢の1本上流側にある沢を詰める。雪質は締まっていて登り易い。30分ほど登った頃、雨が強くなり雨具を着る。雪倉ノ滝上の谷筋に入り



瀬戸川に到着(川はこの下)



瀬戸川上流部も雪で埋まっている

急斜面を登る。名古屋から参加の方がシールの幅が狭く、トラバースで滑る為、ガイドが付き添ってツボ足で登る。

急斜面を登り切って斜面が緩くなった所で、突然稲光と共に雷が落ちた。急いでハイマツ帯に身を寄せる。もう一度雷が落ちる。しばらく待つが、強風と雨は止まない。体感温度も下がって来ている。

2000m地点まで登って来たが登頂は諦め、引き返すことになった。

シールを外し、スキーを履く段になって左足のビンディングのピンがなかなかはまらない。皆が待っているのが焦ってしまう。ようやく履ける。

雨の中、瀬戸川まで快適に滑る。スキーを外し、瀬戸川から少し上った所で昼食にする。食べている最中に雨が強くなり、大木の下に避難する。

シールを着け、蓮華温泉に登り返す。途中、スキーのストッパーが下りてしまい直すのに手間取る。全身濡れ鼠で蓮華温泉に着いた。食堂のストーブを開放してくれ濡れた衣類を干す。温泉に浸かり冷えた体が温まる。今回も雪倉岳に届かず残念である。

コースタイム

蓮華温泉 6:15—7:25 瀬戸川 7:35—9:50 雪倉岳 2000m地点 10:20—10:40 瀬戸川一(昼食)
11:05—12:40 蓮華温泉(泊)

4月16日(日)天候:晴・曇 蓮華温泉～天狗原～梅池～梅池ゴンドラ乗場～帰宅

昨夜も強風が吹いていた。窓から朝日岳が朝日に輝いている。天気は良い。

スキーを付けて蓮華温泉を出発する。乗鞍沢に架かる橋を渡った所でシールを付け、振子沢と乗鞍沢の間にある中尾根を登る。樹林の間から見える乗鞍岳、雪倉岳を右に眺めながら登る。雪が締っていて登り易い。

3回ほど小休止、急なダケカンバ林を登り尾根上に出る。急に開けた感じになり、天狗原が見えて来た。初日に大休止した所で昼食。ここでシールを外す。北方の雨飾、火打、妙高など山々が良く見える。



部屋の窓から朝日岳が輝いて見える



出発前の蓮華温泉で



中尾根を登る



中尾根から焼山(左)と火打山(中央)

昼食後、天狗原へ向う。乗鞍岳の急斜面下を大トラバースし、天狗原に出る。乗鞍岳の大斜面を登っている人や滑って来る人が結構多い。ガイドが雪の状態を判断して梅池自然園に向って



乗鞍岳急斜面右の台地状の所で大休止



昼食後、天狗原へ向う

いる沢に入り滑る。ゴキゲンで滑り、梅池自然園を突っ切る。木がほとんど無い斜面を滑る。尾根を左に乗越し、沢筋を滑って梅の森の Gondola 終点駅に出た。梅の森のレストハウスで休憩

後、ゲレンデを思い思いに滑りゴンドラ乗場に到着。ここで解散となる。

フォークテイルに車で戻り、着替えてから帰路に着く。中央道は、談合坂SA手前から渋滞となり、渋滞を抜けるまで1時間40分かかったが無事自宅に帰着いた。

コースタイム

蓮華温泉 7:30—中尾根取付 8:00—10:50 コル(昼食)11:35—12:00 天狗原—12:38 梅の森 13:00—13:10 梅池ゴンドラ乗場 13:23—13:30 フォークテイル 13:50—15:07 安曇野 IC—16:29 初狩 PA16:34—八王子JCT18:25—18:45 海老名 IC—(給油)—19:40 自宅

以上